

2024年1月21日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第42号(通算3374号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつ だい しゅじつれいはい
降誕節 第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前奏(黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば てがみ しよう せつ
招きの詞 ヨハネの手紙 I 1章 3-4節

さんびか ばん あめ かみ さんびかへんしゅういいんかい
賛美歌 21-265番「天なる神には」(©讚美歌編集委員会)

せいしよ ふくいんしよ しよう せつ
聖書 ヨハネによる福音書 2章 1-11節

いの
お祈り

さんびか ばん
賛美歌 21-286番「ほめたたえよ」(©JASRAC)

みず みず みずたに けん ぼくし
メッセージ 「水がめに水をなみなみと」 水谷 憲 牧師

さんびか ばん ひと さんびかかいていいんかい
賛美歌 21-393番「こころを一つに」(©讚美歌改訂委員会)

しゅいの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじょうしゃしゆくふくしき みずたに けん ぼくし
誕生者祝福式(*) 水谷 憲 牧師

ささげもの
献げ物(*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく みずたに けん ぼくし
祝福 水谷 憲 牧師

こうそう ばん きょうだんさんびかかいていいんかい
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく ページ さんしょう
報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで今年度1月までにお生まれになった方をお祝いします。

ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

** 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

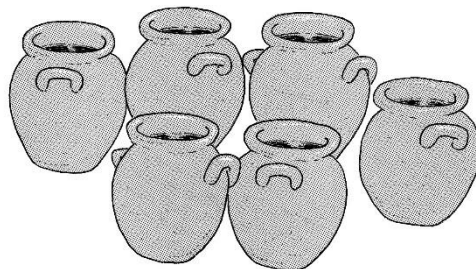
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 まね ことば ヨハネの手紙 I 1章 3-4節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

³ 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも告げ知らせるのは、あなたがたも、私たちとの交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父おんちちと御子みこイエス・キリストとの交わりです。⁴ 私たちがこれらのことを書くのは、私たちの喜びが満ち溢あふれるようになるためです。

聖書 ヨハネによる福音書 2章 1-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹ 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、イエスの母がそこにいた。² イエスとその弟子たちも婚礼に招かれた。³ ぶどう酒がなくなってしまったとき、母がイエスに、「ぶどう酒がありません」と言った。⁴ イエスは母に言われた。「女よ、私とどんな関わりがあるのです。私の時はまだ来ていません。」⁵ 母は召し使いたちに、「この方が言いつけるとおりにしてください」と言った。⁶ そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあつた。いずれも二ないし三メートル入りのものである。⁷ イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満たした。⁸ イエスは、「さあ、それを汲んで、宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。⁹ 世話役が水をなめてみると、ぶどう酒に変わっていた。それがどこから来たものなのか、分からなかったので——水を汲んだ召し使いたちは知っていたが——、世話役は花婿を呼んで、¹⁰ 言った。「誰でも初めに良いぶどう酒を出し、酔いが回った頃に劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取っておかれました。」¹¹ イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行つて、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。



《先週のメッセージより》1月14日 降誕節第3主日礼拝

「友と共に」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 1章35-51節

今回のお話は「最初の弟子たち」という小見出しが付けられているお話でした。4つある福音書で人数が違ったり、名前が違ったりしていますが、共通して言えることは、イエス様が一人だけでは活動せず、仲間と共に活動をしたということです。イエス様についていった弟子たちが、この後どのように歩んだかについては、4つの福音書にそれぞれ記されていますが、彼らはいわゆる「1を聞いて10を知る」ような人たちではなく、むしろ「10を聞いても1をも理解しなかった」ようなお話が続いていきますし、イエス様がいよいよ逮捕されて、処刑されて行くという段階になると、「最初の弟子たち」であった男性の弟子たちは皆、逃げてしまいました。そのことから、彼らはその優秀さの故に選ばれた人たちではなかったということが分かります。「コリントの信徒への手紙Ⅰ」1章27-28節には、「神は世の愚かな者、弱い者、また世の取るに足りない者や軽んじられている者を選びました」とあります。それは自分の力、人間の力がどれだけあるかを誇ったりすることなく、神の力が「弱さの中で完全に現れる」（コリントⅡ12:9）ということ、一人一人が体験し、身をもって示すためだったのではないかと思います。

現代では「自己選択・自己責任」が、あたかも社会の原則であるかのように論じられることが多くありますが、いつの時代のどこに生まれるかを自分で決められる人がいないように、私たちが自分で選び、その結果に対して責任を取れるということは、実はとても少ないのではないのでしょうか。だからこそ、イエス様は「あなたは私に従いますか、従いませんか」といって、私たちに選択を迫るのではなく、「私はあなたのことを知っている。あなたのことを待っているから、ついて来たかったら、いつでもついておいで。あなたはその道を選び、歩むことが出来る。そのための力と仲間が備えられ、与えられていますよ」と呼びかけてくれているのではないかと思います。

イエス様も一人では活動をされませんでした。私たちの周りにも多くの友がいます。友と共に歩む中に、命の神が確かに共にいてくださるということを感じ、様々な失敗や挫折、苦難の中でも、そこから新たな力を得ていくことが出来る。今、困難な状況に置かれ、助けを必要としている方々に対して、私たちが出来ること。諦めてしまうことなく、祈りながら、友と共にまた一步、今日ここから歩みを進めて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 1月14日 降誕節第3主日礼拝

礼拝出席 大人7名 子ども2名

献金 大人6,000円 中継視聴者数9回 感謝

礼拝後に釜ヶ崎支援のために、みんなで188個のおにぎりを作って、いこい食堂にお届けして、西成警察裏の四角公園およそ140人程の方にお渡しさせていただきました。どうもありがとうございました。次月は2月第3週目18日の予定です。

◎次週 2024年1月28日(日) 河内地区有志教会講壇交換(降誕節第5主日) 礼拝

招きの詞 イザヤ書 45章22節

聖書 フィリピの信徒への手紙 2章1-11節

説教 「低きに降る神」 武久盾牧師(住道一粒教会)

賛美歌 37番(©教団讃美歌委員会)、277番(©JASRAC)、448(©JASRAC)

次週の礼拝は河内地区有志教会の「講壇交換礼拝」として、住道一粒教会(大東市)の武久盾牧師が来られます。久宝教会からは牛田牧師が小阪教会(東大阪市)に行きます。

礼拝後の午後、14時~16時半にかけて、住道一粒教会を会場として、河内地区有志教会女性会が開催されます。テーマは「カルト宗教・マインドコントロールについて」で、旧統一教会からの脱会者の方のお話を伺います。女性に限らず、ご関心のある方はどなたでもご参加頂くことが可能です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・2023年度のクリスマス献金については、先週の週報では総額62,000円と報告いたしましたが、計上忘れがあり最終的には79,000円となりました。どうもありがとうございました。6団体それぞれへの献金額は修正して後日改めて報告いたします。
- ・1月27日(土)釜ヶ崎・いこい食堂を応援している大浦農園(和歌山県かつらぎ町)にて、玉ねぎの苗つけの縁農ボランティアが行われます。小さな子どもでもどなたでもご参加いただくこと可能です。ご協力頂ける方は、牛田牧師までご連絡ください。とても寒いので、防寒着と濡れたり汚れたりしても良い服装、手袋、長靴などをご用意ください。

(右の写真は昨年の様子→)

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/28	武久盾牧師 (住道一粒教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 14時~ 河内地区有志教会女性会 (於:住道一粒教会)
2/4	牛田匡牧師	教会を考える会
2/11	鈴木貴博牧師 (大阪大道教会)	関西労働者伝道委員会デイ講壇交換礼拝
2/18	牛田匡牧師	おにぎり支援

